

発行所  
〒862-8676  
熊本市大江5丁目2-1  
九州学院  
TEL (096)364-6134  
FAX (096)363-2576  
http://www.kyugaku.ed.jp/  
発行人 内村公春  
編輯人 小手川 薫  
印刷所 (株)河田印刷  
熊本市近見8丁目5-105  
TEL 096 - 353 - 1049

# 九州通信



## 2009年度年間聖句

「励ましあい、  
お互いの向上に  
心がけなさい。」

テサロニケの信徒への手紙(一)  
5章11節

“Encourage one another and  
build up each other.”  
I THESSALONIANS 5:11  
(NRSV)

## 「それが一番大事—ゆだねる—」

チャブレン 富島裕史

大事 MAN ブラザーズバンドの「それが大事」という歌があります。「負けないこと、投げ出さないこと、逃げ出さないこと、信じぬくこと、だめになりそうなとき、それが一番大事」という歌詞です。だめになりそうなとき、それは私たちにとって一番大切なときなのかもしれません。

もうすぐ夏休みです。各地で海開きが行われると思います。でも地元の人泳がない場所では絶対泳いではいけませんよ。遠浅に見えても急に深みに落ち込んだり、強い流れが隠れていたりするからです。この沖へ引く強い流れを、離岸流といいます。泳いでいるうち沖へ流れされ、岸へ戻ろうと焦って泳ぐと体力を消耗して、溺れてしまうのです。私の知人もこの離岸流に流れされ、溺れかけたことがあります。幸いにも見張りのボートが見つけてくれて助かりました。そのとき船の上から「泳ぐな、泳ぐな」と言われたそうです。離岸流にはまり込んだときは、必死に泳いで力も無駄で、流れに身を任せることが重要だということでした。

これは私たちが生きていくことにおいても大切なことではないでしょうか。私たちは毎日の生活で、難しい流れにはまり込むときがあります。そのときじたばたするのではなく、神さまにゆだねて身をまかせると、いつしか自然と物事が解決してゆくこともあるのです。私たちが人生の離岸流に出会っても、流れに逆らって、自分の力を過信して必死にもがき、力尽きることのないようにしたいものです。神さまの恵みの流れに乗り、その愛で人生の重荷を軽くしていただきましょう。

表面的な言葉で言えば、「初心に返る」というものです。百周年を迎える九州学院にとって重要なのは、この言葉であると考えています。そして実はこうした意味を含めて示したものが、「原点に立つ」という言葉です。可能な限りより深くより広く考えていく共同作業を通して、より良い教育内容を持つ学院へと目指したいと思っています。

幼稚園の新人園児31名、中学1年118名、高校1年328名を迎え、今年度がスタートしました。今年度の新入生は、特に記念すべき入学生となります。それは3年生となった時に九州学院は創立百周年を迎えるからです。というわけで、九州学院全体として、百周年に向けて様々な計画もスタートしました。すでにお送りしました募金趣旨書で紹介しました通り、記念事業として新体育館建設、2号館の改修、また記念礼拝、記念式典などの行事、百周年記念史の編纂などです。でもそれと同時に大事なものは、もう一度九州学院全体の教育を見直すという作業です。そういう意味で、今年度からの学院全体の教育の柱として、「原点に立つ」という言葉があることを、押さえておく必要があるのです。だからこそ、創立時



5月4日に熊本市総合体育館で開かれた第26回火の国旗全国高校空手道優勝大会(県空手道連盟・熊日主催)で九州学院女子チームは主力の松村選手を故障で欠き苦戦しながらも決勝まで勝ち上がり、宮崎第一高校(宮崎)の前に力尽きました。

九州学院は女子が準優勝、男子はベスト8に入りました。3年連続優勝の期待がかかる九州学院女子チームは主力の松村選手を故障で欠き苦戦しながらも決勝まで勝ち上がり、宮崎第一高校(宮崎)の前に力尽きました。

4月16日に浜松市総合水泳場で行われた競泳の日本選手権で、池端宏文君(2年)が男子50mバタフライの決勝に唯一高校生として残り、24秒38の高校新記録をマークしました。

高校1年目の昨年は100mバタフライで高校総体5位、国体でも2位と実力があり、冬場の筋トレで磨いたキック力を武器に急成長、主練にも取り組んでいます。

しました。175cm、74kgの均整の取れた体格(練習は本当は好きではない)と言いつつも、インターハイの種目にある100mバタフライの入賞に照準を合わせ、昨秋から意欲的に主練にも取り組んでいます。

「原点に立つ」という言葉をおきました。女子学院(東京)の初代校長である矢島掛子先生が、教育方針として置いたものに「自分で自分を治めなさい」という言葉があります。実は重要なのは、正確には次のような言葉であったことです。「あなたがたは聖書を持つている。だから自分で自分を治めなさい」。まさに私たちが「自分で自分を治められる」というのは、「聖書がある」という点にあります。そして同じように九州学院の教育目標である「自分で自分を監督し、役に立つ善人となれ」にも、その前提に「あなた

から戦争中も含め毎朝の礼拝を欠かさず行っている意味、九州学院がキリスト教学校である意味があるのです。そのことを改めて確認しておきたいと思えます。ついでに余計な紹介をすれ

ば、矢島掛子先生は、熊本生まれであり、徳富蘇峰・蕨花兄弟の叔母さんです。さてキリスト教の言葉に「悔い改め」というものがあります。神さまの前に常に自らを深く省みるという

ものですが、より一般的で表面的な言葉で言えば、「初心に返る」というものです。百周年を迎える九州学院にとって重要なのは、この言葉であると考えています。そして実はこうした意味を含めて示したものが、「原点に立つ」という言葉です。可能な限りより深くより広く考えていく共同作業を通して、より良い教育内容を持つ学院へと目指したいと思っています。



九州学院 院長 内村公春

**オープンキャンパス**

**九州学院高等学校**  
8月22日(土)  
10:00~(市外中学生対象)  
13:30~(市内中学生対象)

**九州学院中学校**  
10月3日(土)  
13:00~

■学校案内  
Eメール  
info@kyugaku.kumamoto.kumamoto.jp  
ホームページ  
http://www.kyugaku.ed.jp/

**注意**  
九州同窓生関係者にも振り込みサギの被害が出ています。ご注意ください。

**百年の想い世代を超えて**

～九州学院は2011年に創立100周年を迎えます～

九州学院建物配置図

九州学院建物配置図

体育館 敬愛寮

グラウンド

1号館(旧本館) チャペル

2号館 3号館 4号館 新体育館

(保健室) (多目的室) (中野校)

改修 新築

**募金状況報告**  
(6月30日現在)

申込額 12,560,519円  
(346口)

入金額 6,981,519円

6月30日現在の募金状況は上記のとおりです。心から感謝申し上げます。引き続き、募金活動は2012(平成24)年3月まで行います。今後ともご協力をいただきますよう、よろしくお願いたします。

### 村上美香さん(KKT)が講演

#### ■演題「命を守りたい～取材で見てきたこと～」

本校では6月に、中高全生徒を対象とした教育講演会を開催しています。昨年に続き「いのちの教育」をテーマにしている今年は20日(土)に、KKTのアナウンサーで「テレビタミ」のキャスターをなさっている村上美香さんをお招きし、講演をしていただきました。

人に捨てられ殺処分を受ける動物たちの取材を通して実感されたいのちの大切さについて、村上さんの熱いメッセージが本校の中高生1400人あまりの「いのち」に向かって届けられました。いのちの尊厳に対する思いは、そのまま私たち一人ひとりのいのちの問題につながってきます。いのちの大切さに気づいた私たちは、むやみに他人をいじめたりいのちを傷つけたりなんか、絶対しません。そんな思いに、みんな

なるような感動的なお話でした。

写真は省かせて  
頂きます。

いのちを大切に、いのちを愛し、校訓「敬天愛人」の精神につながります。

4月24日(金)から高校1年生の阿蘇一泊研修会が行われました。1日目は午前中に学校で国語・数学・英語の実力検査を受験して昼食をとった後、クラスごとにバスで移動しました。ホテル到着後は賛美歌や校歌を練習し、学校規律の説明を受け、夕食後にはクラス別の親睦会も行われました。翌日2日目はチャプレンと院長の講話が行われ、午後1時に学校に帰着しました。2日間、集団行動では時間を守るようにと厳しい指導を受けながらも、建学の精神について学び、クラスメイトや担任とまた楽しく研修会だったようです。

#### FMKの番組を 九学から発信!

6月1日(月)6時  
間目のLHRの時間に九州学院の放送室に、九学出身のタレントの

## 書道、放送、合唱など全国大会へ続々出場 ～総文祭で総合司会の大役も～

書道部3年松田拓也君は6月に大分県で行われた九州大会で奨励賞を受賞しました。合唱部は5月に熊本県合祭でヴォーカルアンサンブル部門・合唱部門に出場しました。同じく熊本県総合文化祭将棋部門個人戦では1年森崎盛一朗君が優勝しました。文芸部は文芸誌コンクールで佳作、散文部門で高濱佑香さん(今年3月に卒業の発表)が熊本近代文学館賞を受賞しました。



ステージの後全員集合で記念撮影の合唱部

7月末から三重県で行われる全国大会に出場します。NHK杯高校放送コンテスト熊本県大会では、放送部から5名が入賞し、朗読部2位の3年永野裕里恵さんとアナウンス部門3位の3年河崎華子さんは、7月末に東京で行われる全国大会に出場します。

5月30日から三日間、県立劇場で「第21回県高校総合文化祭」が行われ、総合司会を永野裕里恵さん(放送部3年)が務め、合唱部や書道部、文芸部、放送部などの発表も、9学勢が総文祭を大いに盛り上げました。その中でも、特筆すべきは水前寺共済会館で行われた、囲碁・将棋部門で森崎盛一朗君が一年生ながら見事優勝をし、全国高校総合文化祭に出場することになったことです。森崎君はアマチュアの将棋四段の腕前で、これまでも数々のタイトルを手に入れており、社会人を含めて県でも5本の指に入るほどの優秀な棋士として

### 将棋の森崎君が 連続優勝



て常に注目されています。7月29日から五日間、三重県で開かれる第33回全国高校総合文化祭での活躍に期待がかけられます。

### 1阿蘇で 高研修会

4月24日(金)から高校1年生の阿蘇一泊研修会が行われました。1日目は午前中に学校で国語・数学・英語の

### 母校で教育実習

今年も教育実習が始まりました。ここ数年は人数が多く、数回に分けて実施しています。今年も第一期が6月1日から2週間、4週間と各大学のコースに則った実習がおこなわれました。実習生の皆さんは朝礼・終礼・HR・授業と汗を流し、研究授業ではその成果を発揮し充実した教育実習が出来たようです。この貴重な体験は今後の生活の色々な場面面でしっかりと役立つことでしょう。今後の健闘を祈念します。お疲れさまでした。

## 高校生のための文化講演会

—写真家の石川直樹氏が講演—

写真は省かせて  
頂きます。

6月16日(火)午前中に九州学院体育館で「高校生のための文化講演会」が開かれました。同会は(財)一ツ橋文芸教育振興会が主催、文部科学省、集英社などの後援によるもので毎年各地の高校で作家や評論家などを招いて実施しているものです。今回は写真家の石川直樹氏(31)を講師に迎え、「地球を旅する」という演題で、映像を観ながらチヨモランマ登山の体験などを中心にお話をして頂きました。「世界を旅して心を揺さぶる何かと出会って欲しい」という石川さんからの熱いメッセージを生徒たちは真剣なまなざしで聴いていました。



講演の後、集英社から図書百冊が九州学院に贈られ、生徒を代表して塩本生徒会長が受け取りました。

### KAB番組 「私立学校に行ってみよう」

司会・九学OB 黒木よしひろ氏(S36回)

6月11日(木)にKAB番組「私立学校に行ってみよう」の制作ロケが行われました。各校のレポーターを中心にPRビデオ(8分)を制作し、後日、黒木よしひろ氏が各校(5校)からのレポーターをスタジオに招き、みなさんとお互いのビデオを観ながら学校を紹介するといった内容の番組です。

この日はKABのスタッフや関係者数名が来られ、朝から夕方まで授業・クラブ活動・生徒の学校の様子などを取材されました。この番組は6月27日(土)に放映をされ、総文祭でも総合司会を務めた永野裕里恵さん(3年)のプロ顔負けのレポーター役は評判も上々でした。



8月8日(土)12:00~12:55  
KABテレビでオン・エア(再)

志望の生徒の話などを生徒全員で楽しみました。この番組は6月28日(日)午後9時からFMKにて「スクール・オブ・レディオ」という番組名でオンエアされています。

され好評でした。なお、「K.G.ランチ・アワー」と銘打った放送部の自主制作番組は月に一回校内で放送され生徒達も楽しみに聴いています。

# 野口裕生君 (3年) 自転車競技国際大会に出場!



野口裕生(3年)選手は、6月11日、14日にドイツのザールラント州で開かれた第22回ジュニアネイションズカップに日本代表の5人の高校生と共に出場しました。

## 長崎鎮西と交流試合

第27回目を迎えた、長崎鎮西とのスポーツ交流試合が今年も4月に行われました。

「世界のレベルの高さを、特にオランダ、フランスの選手たちの、登りでの強さに圧倒されました。これからは頑張る、世界で通用する選手を目指したい」と思っています。次は、カナダのロー

ました。テニス部は18、19日、パレー部(男・女)は26日に鎮西学院の方でお世話になりました。

九州学院では、卓球部が同志会館に宿泊して11、12日に、陸上部は12日に本校グラウンドで、間近に控えた総体の前哨戦としてお互いが真剣そのもの、その戦いには目を覚ますものがあります。

# 高校総体で6団体が優勝

県下で熱戦が繰り上げられた県高校総体では、九州学院勢が大いに活躍し、空手道部がアベック優勝したのをはじめ、剣道、ボクシング、水泳、自転車、陸上(トラック)が団体優勝、個人でも多くのタイトルを獲得しました。

野球の「NHK旗」は決勝で八代東と対戦し6回まで5対1とリードしていましたが、終盤の投手陣の乱れから逆転を許し5対6で惜敗しました。しかしながら、1、2年生の多い若いチームであり、久々の夏の甲子園の期待が膨らみます。今後ともご声援をお願い致します。

種目	総合・団体	個人入賞
陸上競技	学校対抗総合2位	男子 400M:①武田朝、5000M:②本田、④元村、⑤上村、1000M:①武田雄、⑥赤崎、1500M:③福田、④本田、400R:①丸学、3000障害:③元村、⑥井上、200M:①武田雄、②武田雄、⑥赤崎、1600R:①丸学
	学校対抗トラック1位	女子 800M:④本間、100M障害:②藤本
水泳競技	男子学校対抗1位(11年連続)	男子 100M自由形:①宮本、④福島、⑥山田、400M自由形:①西、100M背泳ぎ:④菅原、100M平泳ぎ:②坂野、④西浦、⑤松浦、100Mバタフライ:①池端、④福島、⑥藤本、400M個人メドレー:②米満、⑥工藤、400Mリレー:①丸学、50M自由形:⑤福島、200M自由形:①宮本、②福島、③西、1500M自由形:⑥林、200M背泳ぎ:③菅原、⑤藤本、200M平泳ぎ:①西浦、③坂野、④松浦、200Mバタフライ:③藤本、⑥中山、200M個人メドレー:①池端、⑤米満、800Mリレー:①丸学、400Mメドレーリレー:②丸学
	女子	400M自由形:⑤弦巻、200M自由形:⑤弦巻
剣道	優勝(5年連続)	団体:2回戦丸学4-0、3回戦丸学3-0、準々決勝丸学4-0開新、決勝リーグ①3勝個人:①下塚、②成田
柔道	ベスト8	団体:2回戦丸学5-0文徳、3回戦丸学3-1専玉、準々決勝丸学0-1熊本個人:100kg級①西村、100kg超級①佐伯
空手	男子 優勝(2年連続) 女子 優勝(3年連続)	男子団体:決勝リーグ①3勝、個人:個人形②田代大、⑥田上、組手②田代峻 女子団体:決勝リーグ①3勝、個人:個人形①松村菜々、⑥赤木、組手②大石
ボクシング	学校対抗1位(3年連続)	モスキート:①内田、③泉、ライトフライ級:①今田、③高橋、フライ級:③山村、フェザー級:③西田、ライト級:①村富、ライトウェルター級:②藤山、ウェルター級:②滝江、③中川、ミドル級:②上田
バドミントン	2位	団体:2回戦丸学3-1文徳、3回戦丸学3-0中央、準々決勝丸学3-0荒尾、準決勝丸学3-0玉名、決勝丸学0-3八代東
卓球	3位	団体:準決勝丸学0-3秀岳館個人:準々決勝丸学4人中村、清水
自転車競技	学校対抗1位	1000mタイムトライアル①野口、④大城、⑥境、ケイリン:①城、④境、3000m個人追い抜き:①野口、④大城、4000m団体追い抜き:②丸学、チームスプリント:①丸学、スクラッチ:①野口、4000m速度:⑤藤森、スプリント:①城、④境、ポイントレース③大城、⑥藤森、ロードレース:②野口
ハンドボール	2位	2回戦丸学48-5八代工、3回戦丸学40-7東海大二、準々決勝丸学17-15、準決勝丸学27-26、決勝丸学15-38
バスケット	3回戦	1回戦丸学81-52八代高専、2回戦丸学72-52玉名、3回戦丸学66-76学園大付
ラグビー	3位	準々決勝丸学41-12熊高、準決勝丸学7-42荒尾
サッカー	1回戦	丸学0-3小川工
バレーボール	男子 2回戦 女子 2回戦	男子 1回戦丸学2-0八代工、2回戦丸学0-2秀岳館 女子 1回戦丸学2-0翔陽、2回戦丸学0-2必由館
テニス	男子 ベスト8 女子 1回戦	男子団体:1回戦丸学3-0茗荷、2回戦丸学3-0電波高専、3回戦丸学2-0東横、準々決勝丸学0-2マリス 女子団体:1回戦丸学1-2船橋
ソフトテニス	1回戦	1回戦丸学1-2河浦
弓道		男子団体:予選リーグ敗退、女子団体:予選リーグ敗退

# 戦績 (3月18日~7月12日)

## 弓道部

熊本本地区高校弓道大会 (4月26日)
 (南部総合スポーツセンター)
 ▼男子団体 2位
 ▼男子個人 3位 荒木 和也(3年)

平成21年度国民体育大会少年男女弓道競技 熊本県代表決定大会 (6月14日)
 (南部総合スポーツセンター)
 ▼男子団体 3位
 ▼女子個人形 5位

全九州高校体育大会 (7月12日)
 (沖繩県立武道館)
 ▼ケイリン 5位 境 啓亨(2年)

空手道部
 第28回全国高等学校空手道選抜大会 (3月24日~26日)
 (東京・東京体育館)
 ▼女子団体組手 5位
 ▼女子個人形 5位

第28回全国高等学校空手道選抜大会 (3月24日~26日)
 (東京・東京体育館)
 ▼女子団体組手 5位
 ▼女子個人形 5位

全九州高校体育大会 (7月12日)
 (沖繩県立武道館)
 ▼ケイリン 5位 境 啓亨(2年)

陸上競技部
 阿久根市長旗九州選抜高校駅伝大会(3月15日)
 3位 井土 尚樹(3年)

柔道部
 第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

柔道部
 第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

柔道部
 第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

## 自転車

平成20年度全国高校自転車競技選抜大会 (3月21日~3月24日)
 (小倉メッセアドム)
 ▼男子個人 3位 荒木 和也(3年)

九州学院では、卓球部が同志会館に宿泊して11、12日に、陸上部は12日に本校グラウンドで、間近に控えた総体の前哨戦としてお互いが真剣そのもの、その戦いには目を覚ますものがあります。

## 柔道部

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

## 柔道部

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

## 柔道部

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

## 柔道部

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

## 柔道部

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

## 柔道部

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本ジュニア体連柔道選手権大会 (6月6日)
 (山鹿市総合体育館)
 ▼81kg級 2位 畑中 勝尋(3年)
 ▼90kg級 3位 宮川 力一(2年)

第41回全日本

# 理事会だより

## 2008(平成20)年度 決算概要

資金収支計算書 H20.4.1~H21.3.31 (単位 千円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	687,684	人件費支出	794,737
手数料収入	16,331	内(教員人件費支出)	654,742
寄付金収入	29,328	内(職員人件費支出)	104,176
補助金収入	368,679	内(退職金支出)	35,819
内(国庫補助金収入)	820		
内(熊本県補助金収入)	358,722	経費支出	223,936
内(国庫補助金収入)	8,837	借入金等利息支出	4,381
その他の収入	87,703	借入金等返済支出	80,570
借入金等収入	20,000	施設関係支出	16,566
前受金収入	60,112	その他の支出	36,954
資金収入調整勘定	△110,352	資金支出調整勘定	△583
前年度繰越支払資金	126,353	次年度繰越支払資金	128,977
収入の部合計	1,285,538	支出の部合計	1,285,538

消費収支計算書 H20.4.1~H21.3.31 (単位 千円)

消費収入の部		消費支出の部	
科目	金額	科目	金額
帰属収入合計	1,108,330	人件費および経費	1,107,058
基本金収入	△58,361	内(減価償却額)	114,503
		その他の支出	5,435
消費収入合計	1,049,969	消費支出合計	1,112,493
		当期収支差額	△62,524

貸借対照表 H21.3.31 (単位 千円)

資産の部		負債、基本金、消費収支差額の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	2,783,211	固定負債	272,952
流動資産	178,503	流動負債	203,020
		基本金	3,795,955
		消費収支差額	△1,310,213
合計	2,961,714	消費収支差額計	2,961,714

去る3月24日に理事会評議員会を開催、平成21年度の事業計画、収支予算について慎重に審議を行い、承認可決しました。

また5月27日開催の理事会・評議員会において、平成20年度事業報告、決算報告をいずれも承認可決しました。(決算概要は別表のとおり)

なお、4月から百周年記念事業の募金活動を開始しました。みなさま方のご協力をお願いいたします。

## 九州学院みどり幼稚園だより

6月29日、年長児ゆい組は中央消防署の招待を受け、「火の用心七夕まつり」に参加してきました。近隣の保育・幼稚園と共に、用意された笹に飾りつけをし、願い事を書いた色とりどりの短冊も、吊し立てた。その後皆で覚えた「防火の誓い」を唱え、安全な生活を願いました。翌30日は、熊本博物館のプラネタリウムに出掛けました。星にまつわる二つの話の観賞で、大きな宇宙や数えきれぬ星の名を覚えて、楽しんでください。



もう♪(幼児さんびか21番)この時期子どもたちは、神さまが創造された大いなる世界へ想いを馳せます。それと同時にどんなに小さなものへも注がれる神さまの愛を嬉しく感じながら過ごしています。



薪を使つての飯盒炊爨に悪戦苦闘

薪を使つての飯盒炊爨に悪戦苦闘... (はんなりすいさん) やスケッチ大会、クラス親睦会などを行いました。また、去年好評だった、お世話になった人へ葉書を書く時間も持ちました。友達の手を深め、団結力を高め、ひとり回り大きく成長できたキャンパスとなったのではないのでしょうか。

## 新入生118名 全校で348名に

4月9日(木)、体育館において、平成21年度入学式が高校と合同で行われました。男子75名女子43名が、新たに九州学院中学生の仲間入りを果たしました。今回の新入生が3年生になるとき、九州学院は創立100周年を迎えます。九州学院のさらなる飛躍の原動力となってくれることを期待したいと思います。



武蔵旗(左前から曾我・廣田・永井・持原・真田)

副将 内田 (九学剣道部コーチ) 大将 米田 (九学教職員) 九州学院の関係者で編成された九好会は10月に山口県で行われる全日本大会に出場します。

第30回熊本県ジュニア水泳競技大会 (6月7日) (アカアードム) 優勝 瀬戸口裕嗣(2年) 男子400M自由形 13歳・14歳 優勝 瀬戸口裕嗣(2年) 男子200M自由形 4分14秒24(大会新)

## 第9回ミズーラ英語劇場 「ヘンゼルとグレーテル」

第9回ミズーラこども英語劇場の公演が4月25日に3号館ホールにて行われました。小学生34名と中学生28名の合計72名が、元気いっぱい練習の成果を発揮しました。また、姉妹校であるオーストラリアのインマニエールカレッジから1年間の予定で来られているニールセン先生の長男のジョシュア君もリハーサルから飛び入りで参加。ミズーラから派遣されたベスさんとシャネル・ネストさんも、子どもたちの元気な演技に感動されていました。



## 全校キャンパス 九中コーナー

6月3日(水)から5日(金)にかけて大分県九重町で全校キャンパスを行いました。今年は、あいにくの雨にもかかわらず、大自然の中、薪を使つての飯盒炊爨(はんなりすいさん)やスケッチ大会、クラス親睦会などを行いました。また、去年好評だった、お世話になった人へ葉書を書く時間も持ちました。友達の手を深め、団結力を高め、ひとり回り大きく成長できたキャンパスとなったのではないのでしょうか。

## 各種大会成績

〔剣道〕 武蔵旗で4年ぶりの頂点 第13回剣聖宮本武蔵顕彰全国小・中学生剣道大会 (4月24~26日) (熊本県総合体育館) 優勝 九州学院中学校A (中学生男子の部) 優勝 九州学院中学校A (柔道) 第27回 全日本都道府県剣道道場対抗優勝大会県大会 (6月6日) (益城町総合体育館) 優勝 九好会 先鋒 海洋(阿蘇西原小) 次鋒 持原(九州学院中) 中堅 メ(九学教職員)

## ダルニー奨学金

6月12日(金)に平成21年度第1回英語検定試験を行いました。今回は希望者のみ、41名の生徒が受験しました。1次試験の合格者数は以下の通りです。

5級11名 4級12名 3級5名 準2級2名 2級2名

## 平成21年度中体連 熊本市大会の主な結果

6月27日~7月6日

団体の部		個人の部	
剣道 男子団体	優勝	代表男子の部	優勝 持原大希
野球	優勝	2年男子の部	優勝 曾我貴昭
柔道 男子団体	2位	1年男子の部	優勝 井戸慎太郎
弓道 女子団体	2位	柔道 男子55kg級	優勝 米村克麻
水泳 男子団体	4位	男子73kg級	3位 坂田直秋
女子団体	5位	男子81kg級	3位 平賀雅刀
		男子90kg級	2位 後藤健太
		男子90kg超級	3位 坂田大起
		女子52kg級	3位 上田奈那
		女子63kg級	2位 清田麗衣
		水泳 男子200自由形	優勝 瀬戸口裕嗣
		男子100自由形	優勝 瀬戸口裕嗣
		女子50バタフライ	優勝 絹原有理
		女子100バタフライ	優勝 絹原有理
		男子400フリースタイル	3位 荒木・森崎・松原
		弓道 代表男子	優勝 内田貴志
		代表女子	2位 高須百華
			3位 千原梨乃
		テニス 男子シングルス	3位 中島弘陽
		バドミントン 男子シングルス	3位 山口将史

### 育友会 新会長に島本氏を選出！ 副会長は4人に増員！

九州学院育友会定例総会が、5月12日(火)1時半からブラウニング・メモリアル・チャペルで行われました。

総会ではさまざまな活発な意見が出されて審議に時間を要し、その後に予定されていたクラス懇談会の時間も迫ってきたため、議事途中で閉会となりました。そのため6月18日(木)に臨時総会を開催し、その中で会計報告や予算案などの議事の承認をして頂きました。

なお、新役員については暫定的な規約改正の下での立候補者推薦を含む)を募り、今年度に限り学校に一任して役員の選出を行うことになりました。

6月30日(火)の立候補の締め切りの後、学校が厳正に審議した結果別表のとおり新役員を選出しました。

(任期一年)



- |     |        |
|-----|--------|
| 会長  | 島本 深   |
| 副会長 | 西牟田 孝也 |
| 副会長 | 長尾 浩一  |
| 副会長 | 亀子 俊英  |
| 副会長 | 後藤 恵   |
| 書記  | 河崎 公蔵  |
| 書記  | 木村 朋美  |
| 会計  | 清田 清美  |
| 会計  | 林 祥増   |
| 監事  | 蔵原 啓介  |
| 監事  | 成松 司朗  |
- (敬称略)

### 就任の挨拶 感謝と敬意の心で 新会長島本深

日頃より、九州学院育友会活動に対しましては、先生方また保護者の皆様へ格別のご理解をいただき、深く御礼を申し上げます。

この度、育友会会長を仰せつかり、その役目の重さに身の引き締まる思いしております。

それと同時に、日頃からご指導頂いております先生方そして、保護者の皆様との協力を得ながら、九州学院に学ばれる生徒の皆様に対し育友会の活動を通じて、側面からの支援の出来ない喜びを感じております。

ご存知の通り、九州学院は、二〇一一年に、創立百周年という記念すべき年を迎えます。

その輝ける伝統を築かれてきた、多くの先生方、OB、OGの皆さまに感謝と敬意を表し、また、次の百年を担う生徒の育成を託し、いさづに代えさせていただきます。

### 職員異動 奥村・村田先生が退任 ストロング先生が専任に 2009

今年3月末をもって先生方が10名退任され、4月から新たに18名を教職員として迎え、新年度がスタートしました。

村田 雅彰(社会)

昭和61年から23年に亘って社会科の教師として奉職されました。

昭和43年に赴任され、今年3月まで41年間に亘り、音楽科の教師として教鞭を執られました。

貿易関係の民間会社に転職のため退職されました。

玉井 愛(国語)

大輔(国語)

上 賢治(数学)

村上 賢治(数学)

杉本日出夫(理科)

矢野 文宏(英語)

山下 恵資(英語)

西 誠也(保健体育)

栗原 彩(保健体育)

### 専任理事長 就任にあたって

理事長 長岡 立一郎



本年7月1日付けをもって九州学院専任理事長として就任し、毎日出勤しています。

学院が創立されて98年、その間、理事長の専任は今回がはじめてであります。

専任に至った理由は、私立学校法の改正に伴い、理事長は非常勤ではなく、常勤であることが求められていますので、その職務の重要性を受けとめ決断に至った次第です。

御承知の通り、わが学院は2011年に創立百周年の節目を迎えます。これを機により一層、学校経営の強化と教育の充実が求められていますので、その為に微力ながら尽力していく所存です。

尚、九州学院みどり幼稚園の園長も兼務することになりましたので、宜しく御願申し上げます。

外国人スタッフが充実  
九州学院には創立以来、外国人の宣教師や教師が毎年二、三人はいますが、今年はオーストラリアのニールセン先生を含め五人になりました。

英会話の授業もさらに充実したものとなっています。

- 山本奈津子(美術)
- 〔新任〕(敬称略)
- 桑田 周明(国語)
- 中尾 奏美(国語)
- 山河 理沙(国語)
- 山内 久(数学)
- 佐々木公久(数学)
- 田代 貴裕(数学)
- 河田いずみ(理科)
- 中迎 拓真(英語)
- アンドリュー・ストロング
- 〔英会話〕
- グラント・ニールセン
- 〔英会話〕
- 石野菜都子(英語)
- 田方 玲子(保健体育)
- 大島 一央(保健体育)
- 倉田 隆輔(保健体育)
- 坂本 久(美術)
- 松山智香子(音楽)
- 関山 幸子(事務)
- 開原 二(寮監)
- 丹羽由貴恵(幼稚園)



カーター先生 ハロウエイ先生 ストロング先生 ホッファー先生

### 進路室だより

## チャレンジ精神で前向きに ~同志社大の推薦枠22名に~

今春の卒業生(301人)の進路状況は次の通りです。4年生の大学進学70%、短大2%、専修・各種学校13%、予備校など8%、留学などその他7%となっています。主な合格大学を挙げると、国立大では、大阪大学、東京学芸大学、熊本大(5)、宮崎大(4)、鹿児島大(3)、佐賀大(2)、福岡教育大、山口大、東京農工大、熊本県立大(9)が挙げられますが、特筆できることは、久しぶりに熊本大(医学部・医学科1名)の合格者が出たことです。また私大では、同志社大学進学者数が増加しています。九州で九学だけが同志社ネットワークにつながっていて、21人も推薦入試枠が与えられたためです。私大では早稲田、明治、法政、関東学院、明治学院などの関東の有力大学や九州の西南、福大、APUなどに合計252人の合格者を出しています。

この数年、九学の傾向として、受験の方法として指定校推薦入試や公募推薦入試を選択する人の数が増加しています。在学中にクラブ活動と勉強の両立を図りながら頑張る抜き、3年間立派な成績を残した結果として、自分が本当に望む進路につながったとすれば、それは喜ばしいことです。一方で、最後まで第一志望の大学に一般入試でチャレンジする生徒たちもいます。

本当に行きたい大学が見つければ、本気になれるはず。チャレンジする気持ちを持って、最後まで頑張ることが出来る人は幸いです。一度だけの人生です。自分の人生を切り拓くために、どの受験方法であれ、一生懸命にチャレンジする気持ちを持ち続けられるように、私たちは一人ひとりの生徒を大切にしていきたくと思っています。



(進路部長:阿部英樹記)

7月7日(火)に進路部主催で、九学多目的ホールで行われた保護者と生徒を対象とした大学・専門学校説明会(熊本、学園大など22校参加)

### 九州学院体育館で「K-1甲子園」を開催

6月7日(日)、九州学院体育館で「K-1甲子園」の九州沖繩地区予選大会が開催され、詰めかけたファンら約500人が高校生の熱気あふれる戦いに声援を送りました。

この日は62キロ級の15試合と70キロ級の1試合が行われ、九州学院からは山川征九朗選手(空手道部2年)が62キロ級、野口鉄兵選手(空手道部2年)が70キロ級に出場しました。山川選手は今地区予選を制した園田顕悟選手(門川高校)に敗れました。野口選手は決勝で荒木智眼選手(クラーク記念国際高校)と



延長戦にもつれ込みましたが、蹴りが相手の背中にあたったことで反則をとられ、惜しくも敗れました。

なお、九学チアダンス部もインターミッションで踊りを披露し、会場は華やかなムードに包まれました。

### インマヌエル高校のニールセン先生が一年間の英語講師に

オーストラリアのアデアレードにあるインマヌエル・カレッジは1991年に九州学院と姉妹校締結をし、交換留学生、研修旅行団をお互いに送り合うなどして交流を続けています。

また、今年はいンマヌエル高校から交換留学生のジャック・キー・ラオさんが、同校の日本語教師グラント・ニールセン先生も一年間の予定で4月から本校で英会話を教えておられます。

実はこの先生、本校でも聖書の授業をされている日



(左)ニールセン先生、(右)ボーマン先生

# 2011年に創立百周年

## ～母校愛に燃える同窓会～

### 大同窓会に約六百名が集う

2009年度の大同窓会が、4月25日(土)に、全日空ニュースカイホテルで開催されました。また、2009年度の懇親会に先立ち、2008年度が開かれ、2008年度の活動報告・会計報告等が行われました。



ステージで紹介される全国から集まった同窓生の面々

活動計画・予算案等についても提案があり、いずれも承認・可決しました。

当日は東京をはじめ全国各地から同窓生が参加し、600名近い盛大な集いとなりました。また、約20名の新卒者がステージで紹介され、華やかな大同窓会となりました。大盛会のうちに終了しました。

### 東京九学会 新卒12人も参加

6月6日、東京青山の「青学会館」に約80名の同窓生が参集し、平成21年度東京九学会総会・懇親会が開催されました。

総会では5つの案件が満場一致で承認され、新しい幹事長に山本直行氏(S15回)が選出されました。続く懇親会には幅広い世代が参

### 各地の同窓会

5月9日 荒尾毛名地区 貝堀り・パークビュー大会  
6月6日 東京九学会 人吉球磨 九学会  
7月11日 八代支部 阿蘇中部地区 九学会

### 荒玉支部で 海のイベント

九州学院同窓会荒玉支部の恒例となつて

### 同窓会主催の 地区別食事を今年も順調にスタート

毎年恒例となつていますが、お昼休みを利用して、在校生と同窓会役員、学校職員で出身地区別食事をしています。会議室での短いひと時ですが、食

### 九州学院 経済交流会が 今秋発足

経済活動を行う九州OBの相互交流・情報交換及び母校の教育活動への協力等を目的とした九州学院経済交流会が今秋発足します。皆様のご協力を宜しくお願いします。お問合せ先(事務局)

### 百周年のグッズを販売

2011年に創立百周年を迎えるにあたり、九州学院では、百周年記念事業基金委員会を組織し、4月末には同窓生の皆様に趣意書をお届けしたところです。また、同窓会では百周年記念グッズを製作し、4月から販売を開始しています。また、募金委員会では、活動の一環として、学年ごとの同窓会を開催する時の通信費の一部補助を決定しました。2012年3月まで、1回に限り行いますので、学年ごとの同窓会を開催される際はぜひご一報ください。なお、地区ごとの同窓会、学年ごとの同窓会、職域ごとの同窓会およびクラブOB会などを開催される際は、百周年記念グッズの販売にご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。同窓会事務局 096-366-4533 372-6985



### お詫びと訂正

九州学院同窓会では、昨年12月15日付けで新しい「同窓会会員名簿」(頒布価格は税込込みで5000円)を発行しましたが、S4回の清高初美様は九州学院中学校のご出身であるにもかかわらず、J2回の卒業生欄に清高様のお名前が記載されていませんでした。深くお詫び申し上げます。同窓会事務局としましては、今後このようなことのないよう十分留意する所存です。ここに陳謝し、ご訂正申し上げます。

### 「育英奨学金授与式」を挙行

5月11日(月)に2009年度の同窓会育英奨学金の授与式を行いました。九州学院同窓会では1981年の創立70周年の行事の一環として、中高の奨学生に対して「奨学金」を授ける制度を設け、奨学生Aで合格した生徒に毎月奨学金を支給するものです。この日は同窓会の米村嘉人育英奨学委員長が保護者や関係者の前でひとりずつ名前を読み上げ、4月分の奨学金を授与し「奨学生としての誇りを持ち、志を高く持つこと、校歌の歌詞にある文言をか

みしめながら学校生活を送ること」と奨学生を激励しました。また、6月25日(木)には恒例の同窓会主催の「奨学生・給費生を励ます会」が行われ、中高の奨学生32人、給費生(入学生後の成績優秀者)7人を前に同窓会を代表して米村委員長から激励の言葉が贈られました。そのあと同窓会から用意された豪華な弁当を開きながら、将来の夢などを生徒から一言ずつ話してもらいました。(同窓会事務局) 096・366・4533

### 写真は省か 頂きます。

### 有村智恵(J56回) 女子ゴルフツアー 2勝目

ゴルテンウイークに千葉市の京葉カントリー倶楽部で行われた国内女子ゴルフツアー第7戦、クリスタルガイザー・レディースで、九州学院出身の有村智恵選手が優勝しました。

有村選手は10歳からゴルフを始め、九州学院中学校時代には全国中学校ゴルフ選手権(2002年)を制覇するなど活躍し、ゴルフ留学でアカデミック・ゴルフ・アワード高校生部の奨励賞を受賞、2006年に19歳でプロテストにトップの成績で合格し、同年78期生としてデビューしました。2007年は優勝こそないものの、トップテン入りが10回、賞金ランキング13位と健闘し、昨年6月にプロミス・レディーズで初優勝して以来のツアー2勝目となりました。

### 亀井八段(S25回)が最年少「範士」に

5月6日に京都で行われた全日本剣道連盟称号審査会において、九州学院OBで県警の亀井徹八段(54歳)が「範士」に合格しました。「範士」とは八段(受審資格は46歳以上)合格の後8年以上が経過していることが前提条件で剣道界の最高峰の称号です。 亀井八段は九州学院

### 角田氏(S23回) 「千の風」のついでに「バス独唱」

同窓生の角田整保氏(S23回)は整骨院の院長、薬剤師の本業の傍ら福岡フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターを20年間勤めていました。

「愛と感謝に生きる」をモットーに気軽に演奏をして下さるそつで、ご興味のおありの方は同窓会本部までご連絡下さい。

### 九州学院広報委員会

- 緒方 徹・田端 圭二
- 池永 清・藤本 誠
- 藤森 正彦・村上 洋也
- 山崎 哲央・磯田 一成
- 藤本 尚美・小手川 典